# 第2回 UMLの概要とユースケース図

# UML の概要 モデリング とは

UML とは

何の略か

特徵

UML の仕様を策定する団体

## UML に規定されているダイアグラム

表1 UMLに規定されているダイアグラム

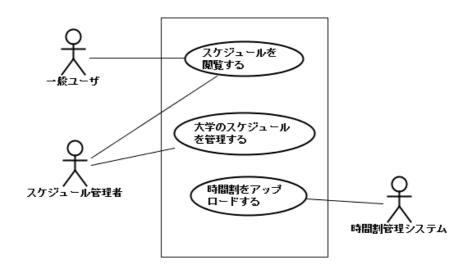
| ダイアグラムの名称 | 種別  | 説明                           |
|-----------|-----|------------------------------|
|           |     | システム化する対象やシステムの構成要素をクラスとその   |
|           |     | 関係によって表現する図                  |
|           |     | パッケージの定義、パッケージ間の関係を表す図       |
|           | 構   | ある時点のオブジェクト(インスタンス)間の関係を表す図  |
|           | 造   | システム実行時の構造を表す図で、構造全体を表すコンポジ  |
|           | 図   | ットとその内部を構成するパーツから成る          |
|           |     | システムの物理的なハードウェアの構成を表す図       |
|           |     | システムを構成するコンポーネント、特にソフトウェアや   |
|           |     | ファイルなどの構造を表す図                |
|           |     | システムが提供する機能をユーザの視点から表す図      |
|           |     | 業務やシステムの処理フローなど、アクティビティの流れを  |
|           |     | 表現する図                        |
|           |     | オブジェクトの状態遷移と、それに伴うアクションの関係を  |
|           | 振   | 表す図                          |
|           | る   | オブジェクト間のメッセージ交換などの協調動作を時系列で  |
|           | 舞   | 表現する図                        |
|           | \ \ | オブジェクト間のメッセージ交換などの協調動作をオブジェ  |
|           | 図   | クト同士の関係の視点で表現する図             |
|           |     | 複数のシーケンス図やコミュニケーション図をつないで,   |
|           |     | 各図の処理順序を表す図                  |
|           |     | 時系列に沿ったイベントと, オブジェクトの状態遷移の対応 |
|           |     | を表す図. 主にリアルタイムシステムで利用.       |

## 2. ユースケース

#### ユースケースとは

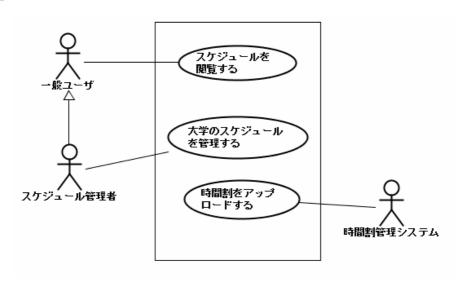
## ユースケース図の記法(基本編)

アクター, ユースケース, 関連, システム境界

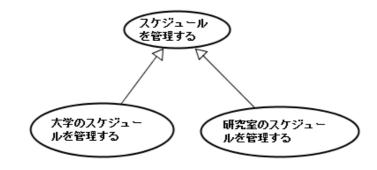


## ユースケース図の記法(応用編)

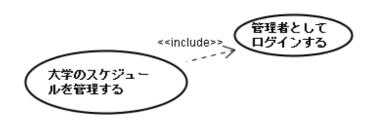
汎 化



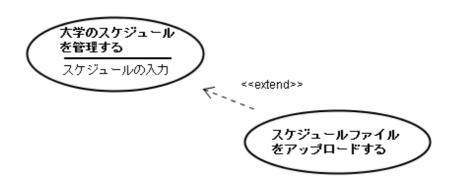
#### ユースケースの汎化



#### 包含



#### 拡 張



## 3. ユースケース図を描く際のポイント